

千葉工業同窓会報

平成18年3月1日

第17号

発行 千葉工業同窓会



空から見た千葉工業（平成17年9月）

目次

好日雑感	会長 安藤信吉	2	クラス会だより	14
1年を振り返って	校長 宮越博文	2	古希記念クラス会 クラス会の還暦	
同窓会事務局報告	長嶋孝雄	3	M34 同窓会 元気な高齢者のクラス会	
同窓会報基金の報告	小林 稔	3	3035 柔友会	
総務委員会からの報告	宮内 潔	4	囲碁同好会だより	高橋健一 17
ボランティア委員会活動について	山本敏雄	4	同窓生多士済々	18
支部連絡委員会で意見交換	早尾 茂	5	平野澄夫(32C) 澤川定夫(28E)	
レクリエーション同好会の活動	海保 保	6	千葉工チョイナ武士	渡辺武雄 20
IT委員会設置のお知らせ	高橋正己	7	ハイキング同好会	木間英一 20
座談会「母校創立70年をひかえて」		8	「同窓会幹事会」案内	21
千葉工業この1年		12	ラグビー部、関東大会へ	秋葉朋幸 21
・山岳部 関東登山大会	・溶接部門で知事賞		外房支部「幹事会便り」	菰田達男 22
・教室棟大規模改修	・定時制の資格取得		同窓祭実行委員長決まる	22
・企業社にインターンシップ	・太野清伍先生講演		「竹とんぼ教室」案内	22
・中学校教員が研修	・中学生が体験入学		70周年記念事業・記念式典11月25日	23
・中学校ロボット教室	・17年度進路状況		「同窓祭」開催ご案内	24
			編集後記	24

好日雑感

千葉工業同窓会長 安藤 信吉



① この頃の政治に思うこと (沖縄のこと)

沖縄の問題は人間そのもの
の問題でもある。戦争で沖縄
は国内最大の犠牲を払った。
我々軍隊生活をした人間にと

っては忘れることのできない特別の意味がある。沖縄やサイパンに行き海辺に遊ぶ時、砂浜に流れ寄るサンゴの切れ端にそこで戦いに散った多くの人々を思って、しばし立ちつくしたことを思い出す。

基地問題は難問であることに間違いはない。東支那海に問題あり、地の利から沖縄が便利であることは客観的事実であろう。しかし、他県に移せる施設等も相当あると考えても不自然ではないであろう。我が家の前を通る新幹線は反対だが、他人の家の前なら賛成だということ、どう違うのだろうか。

せめて国は十二分の沖縄発展策を、各都道府県は、それぞれの条件に応じて、なにがしかの負担をする意思表示が必要ではないだろうか。戦後六十年、すべての日本人が我が事と思って考える必要性を強く感じている。

② 同窓会報基金について (感謝とお願い)

同窓会報の発行は同窓会活動の根幹をなすものであって、その重要性は極めて高い。会報基金の設定と多数の協力者のおかげで財政的に大変助かっている。これからもご協力いただけるよう感謝をこめてお願いしたい。

③ 新規入会のお願い

同窓会は新しい目標に挑戦する組織として千葉工業高校は勿論のこと、社会に対しても貢献し、かつ自らの人生を豊かなものにするように努力し続けてきた。これからも多くの役員と協力して、そうした方向を目指したいと願っている。各支部へのご入会を切に願うものである。皆様のご健康を心からお祈り申し上げます。

(20M)

1年を振り返って

千葉工業高等学校 校長 宮越博文



生徒達の学力低下が指摘され「ゆとり教育」から「学力重視」へと教育方針が大きく変わった。しかし、教育にはゆとりが必要で従来の詰め込み教育ではなく、自ら判断でき、自ら学ぶ心が育つ教育が大切だと思う。

本校生徒は礼儀正しく、基礎学力もあり、目的意識も高い。工業の専門知識を学ぼうと希望や夢を持って入学した生徒が三カ年学んで希望がかなえて良かったと思える学校づくりに先生方の努力とご協力をお願いして、4月に本校の経営方針を述べた。内容は

① 明るい学校づくりに努力します。

充実した良い授業を行うためには先生方が健康で活力があり、風通しの良い学校でなければならない。教師は日々多忙であるが、暗くならず、お互いが助け合い声掛け合ってコミュニケーションを良くして、先生方の努力が報われる学校づくりに努力します。

② 生徒が活躍する場面を多く作って下さい。

どの生徒も多面性を持っており、能力を蓄えています。それぞれの生徒の良い面を認め、可能性を信じ、活躍する場面を多く作って生徒を生かす粘り強い指導をお願いします。良いこと・やっではないいけないことの善悪をわきまえること、我慢することをしっかり教えて下さい。良い教師とは「生徒と共に笑う教師」で、悪い教師とは「生徒を笑う教師」

③ 地域の信頼に応える学校づくりをします。

地域の保護者・同窓会の方々から「伝統があり良い学校」と評価され、先生方の取り組みが高く評価されています。さらに良くする為に先生方一人一人が全力で取り組み、その様子を皆様に公開していきましょう。

1年を経過し、掲げた方針に近づけるべく日々努力しています。同窓会を始め保護者の皆様の特段のご支援とご協力をお願いします。

千葉工業同窓会事務局報告

千葉工業同窓会は、県下にある9地域支部が本部・支部間の連携をとりながら、母校への助成活動や、会員の親睦を深めるため、それぞれ意欲的な活動をしています。

平成17年度の本部事務局の主な同窓会活動を紹介します。

- 4月 3日 : 第20回同窓祭、第5回竹とんぼ教室
- 7日 : 入学式
- 10日 : 外房支部総会
- 23日 : 千葉市西支部総会
- 5月 6日 : 創立記念講演会、大野清伍先生(28E)
- 6日 : 常任幹事会
- 8日 : 京葉支部総会
- 15日 : 同窓会幹事会
- 22日 : 市原市支部総会
- 29日 : 北総支部総会
- 6月 12日 : 東葛支部総会
- 19日 : 千葉市東支部総会
- 7月 3日 : 千葉市中支部総会
- 8月 2日 : 囲碁交流会
- 27日 : 常任幹事会
- 10月～1月 : 就業体験学習(インターンシップ)
- 11月 6日 : 千工祭・テーマ「誠」
- 6日 : 常任幹事会、70周年記念実行委員会
- 3月 8日 : 卒業式
- 12日 : 南総支部総会
- 0日 : 就業体験学習発表会

事務局長
長嶋 孝雄(42E)

平成17年度同窓会予算
収入の部 (単位:円)

科目	金額
繰越金	2,573,277
入会金	900,000
名簿代金	850,000
助成金	3,500,000
繰入金	710,000
負担金	163,000
寄付金	3,500
雑収入	223
合計	8,700,000

支出の部 (単位:円)

科目	金額
名簿作成	955,000
文化費	400,000
会議費	450,000
通信費	70,000
教育功労	300,000
行事費	800,000
支部助成	1,200,000
事務費	60,000
会報発行	2,500,000
雑費	20,000
渉外費	1,000,000
予備費	945,000
合計	8,700,000

同窓会報基金の報告とご協力依頼

事務局基金担当
小林 昶(36E)

会報発行を円滑に進めるため、会員の皆様に「同窓会報基金」の寄付をお願いしていますが、今年度も多数の方々からご寄付を賜り、まことに有り難うございました。会報発行資金の一部に充当させていただいております。本年度も引き続きお願いします。16年度寄付金と17年度繰出金について下記の通りご報告致します。

同窓会報基金特別会計決算報告

収入の部 (単位:円) 支出の部 (単位:円)

科目	金額	記事	科目	金額	記事
繰越金	2,605	前年度繰越金			
寄付金	159,990	14号(15年度寄付金)			
寄付金	611,740	15号(15年度寄付金)			
合計	774,335		繰出金	770,000	16年度一般会計へ
繰越金	21,835	前年度繰越金、口座残高			
寄付金	702,453	16号(16年度寄付金)			
寄付金	63,180	16号(17年度寄付金)			
合計	787,468		繰出金	710,000	17年度一般会計へ

- ① 会報15号基金(16.4.1～16.12.14) : 16年度寄付金 54口 67,680円
- ② 会報16号基金(17.2.25～17.3.31) : 16年度寄付金 617口 702,453円
- ③ 会報16号基金(17.4.1～17.12.25) : 17年度寄付金 66口 63,180円

総務委員会からの報告



昨年の会報にて報告した通り、一昨年に復活した委員会です。昨年と重複致しますが下記の活動をしております。同窓生の皆様には、是非ともご支援ご協力をお願い申し上げます。又、遠慮無く総務委員会をご活用下さい。皆様からの多くの情報をお待ちしております。

- ① 求人を目指す企業経営者である同窓生及び求職を目指す様々な立場の同窓生の相談窓口…活用して下さい。

総務委員会
委員長 宮内 潔 (32C)

- ② 母校より同窓会及び同窓生への要望窓口…協力して下さい。
- ③ 母校のインターンシップ活動に対する窓口…支援して下さい。
- ④ その他、既存の委員会に属さないかあるいは対応しきれぬ全てに関する同窓会関係の窓口…ご指導をお願いします。

連絡先 電話 0438-23-2608

携帯 090-4094-5901

FAXは、電話と同じ

【注】連絡は、母校及び各地域支部役員経由でもかまいません。

ボランティア委員会活動について



目的

同窓会のボランティア活動は、千葉工業に在籍し基礎知識を学んだ同窓生としての帰属意識に基づいた同志が相集い母校への恩返しを目的とした社会奉仕の一環であると思います。世間一般の社会奉仕活動とは違って、あくまでも母校の環境改善を目指したものに限定されます。

活動内容について

私は、活動方針についてはよくわからないまま一昨年の6月に初めて参加致しました。その後、昨年の7月に安藤会長より電話を戴き、古川委員長が8月に入院することになったのでボランティア委員会の委員長代行をして欲しいとの要望がありましたので、早速、委員長に問い合わせをしたところ、現在まで次の諸活動が実施されている旨を伺いました。

- ① 1月は芝桜・松葉菊を植栽する場所の選立立ち会いを実施している。
- ② 4月は同窓祭の福岡沖地震の救済募金を行い千葉日報福祉事業団へ寄付した。
- ③ 6月は校内の小灌木の剪定作業を8名の協力者で実施した。

ボランティア委員会
委員長代行 山本敏雄 (27C)

- ④ 70周年記念を迎えるため、校内の美化運動の一環として弓道場の脇を開墾して花壇を作ることが会長より表明された。
- ⑤ 8月に、3日間に渡って千葉市東支部・佐川一(32C)氏のご尽力で重機を使用して開墾致しました。その後の具体案については検討中であります。

今後の在り方について

現在のところは、委員会といっても古川委員長の指示要請で、学校周辺に在住している同窓生に声がかかり、応援に駆けつけているのが現状です。

任意団体が組織的な活動をするには、組織化して有志の役割分担を明確にして有機的に連絡を取り合って情報の共有化をする必要があります。即ち、行事を行う場合には5W2H(何時・何処で・誰が・何を・何故・どんな方法・経費)が明確にならないと具現化は不可能であります。例えば、同窓会の幹事会が開催される場合は、その日の前半に各委員会を開催して諸問題を検討して、その結果を幹事会で報告し承認を得るシステムが望ましいと考えます。そのような意味からも、ボランティア委員会の早急な組織化が望まれます。

支部連絡委員会で意見交換



本部組織は、総会(幹事会)常任幹事会の他に、実行部隊として6つの特別委員会で構成されている。そのひとつに「支部連絡委員会」がある。

本部の会長以下三役と9支部の代表者により委員会を構成し開催する。

3月～7月の間に、本部総会や各支部の総会が開催され、相互に交流を図っているが、詳細にわたる支部活動の悩みや意見交換を図る場として、この委員会が設置されている。

予め、各支部から書式にもとづいた報告をいただき、他支部の参考となる資料をまとめておき、会議が開かれる。自支部でやられていない行事や活動の紹介が他支部から得られ、非常に役立っている。同じ千葉県内に存在する支部であっても、地域性や構成員によって特色の異なる面がある。これらをお互いに自支部の活動に取り入れることによって活性化が図られるメリットがある。

支部連絡委員会
委員長 早尾 茂 (26E)

また本部の行事・活動については、各支部の協力・支援がなければうまく機能しない面もある。本部からは各支部への指導は勿論のこと、支部への活動資金の一部が助成されている。本部と支部間は相互にもちつもたれつの良い関係にある。

従って、支部は自支部の活動の他に、本部の行事・活動について、協力する関係にある。

この関係の強化によって、同窓会全体の動きが活性化するとともに、母校の発展に寄与することができるのである。

このためには、会員の増強と役員の増員が必要なことは勿論である。経年により役員も高齢化しつつあり、若年層の入会が求められている。定年退職により時間的に余裕が出た方は、どこの支部でも結構ですから、入会にひと声掛けて下さい。支部は喜んで歓迎いたします。地元の支部でなくても同期生のいる支部でも結構です。楽しい会合や行事がお待ちしております。

各地域支部の代表者名と連絡先

支部名	創立年	代表者名	卒年科	現住所	電話番号
南 総	昭和51年	小林一臣	34M	君津市上湯江1664-3	0439-54-4428
北 総	平成 3年	早尾 茂	26E	四街道市栗山1000-47	043-422-8825
市原市	平成 6年	山田俊雄	28E	市原市荻作590-17	0436-74-3019
千葉市・中	平成 5年	岡本保彦	33C	千葉市中央区都町1259-51	043-232-8903
千葉市・東	平成 5年	嶋村英男	30E	千葉市若葉区みつわ台4-30-3	043-252-2013
千葉市・西	平成 5年	石井孝司	30E	千葉市稲毛区稲毛東3-14-1-601	043-241-2526
外 房	平成 6年	高橋正己	32C	東金市宿704-5	0475-58-7260
京 葉	平成 8年	渡辺武雄	30M	八千代市八千代台北12-22-5	047-483-6859
東 葛	平成11年	立崎作次	26C	松戸市六実6-26-7	047-385-1617

IT委員会設置のお知らせ

IT委員会委員長 高橋正己(32C)

IT (Information Technology) 委員会設置の主旨

これまで千葉工業同窓会活動の主たる情報伝達手段は、対面・人伝え・郵便・電話でおこない、同窓会の推進を支えてきました。広範に情報を発信し千工会会員同士が豊富な情報量を共有するとき、更なる同窓会活動の発展が期待できます。これまでの情報手段に、新たに電子メール網の整備と母校HPの充実を加え活用することで、情報の量と質と Speed がさらにUpし、三拍子そろった情報手段が整うこととなります。会員と母校、会員と同窓会本部、会員と地域支部、会員と会員、それぞれがITで結ばれ情報が往來することによって、同窓のよしみを身近に感じて頂けると確信しています。主旨をご理解いただき、多数の方々からメールアドレスの開示をお待ちしています。

千葉工業高等学校ホームページ

www.chiba-c.ed.jp/chiba-th/

メールアドレス

chiba-th@chiba-c.ed.jp

IT委員会メンバー紹介

IT委員会は、平成17年8月27日の常任幹事会で設置することが決まり、9月25日に初会合を開き活動がスタートしました。

IT委員は、支部代表者(11名)と母校の代表者(1名)で構成され、支部単位でのEメールアドレスの調査整備と母校ホームページの充実をはかります。

委員長 高橋正己(32C) 外房

委員 木間英一(33C) 東葛

〃 坂巻 実(34M) 東葛

〃 黒川武夫(36E) 北総

〃 若月忠良(37M) 京葉

〃 大海義夫(44E) 千葉市西

〃 岡本保彦(33C) 千葉市中

〃 嶋村英男(30E) 千葉市東

〃 斎藤公彦(37C) 市原市

〃 小林一臣(34M) 南総

〃 菰田達夫(34M) 外房

〃 島貫 輝(61E) 千葉工職員

個人情報の取扱いについて

開示いただいた個人情報を守ることは、もとよりたいへん重要なことだと考えます。開示いただいたメールアドレスは「同窓会における個人情報の取扱いについての内規」に準拠して管理いたします。その利用目的は限定いたします。

- ① 同窓会からの各種通信文書の発信・送信(会報・クラス会・同期会・支部連絡会等)
- ② 名簿の作成
- ③ その他会則に定める事業の遂行に必要と判断される諸事業

アクセス方法

母校のメールアドレスにアクセスしてください。「こんにちは!〇〇年〇科卒の〇〇△△です」だけで結構です。この時点で送信者のアドレスが開示されます。



不明な点は同窓会事務局にお問い合わせください。

TEL. 043-264-6251

(写真左より)

安藤信吉(20M)

(千葉工業同窓会会長)

小林(織田沢) 迪子(34C)

(京葉支部・船橋地区幹事)

古川(高木) 千枝子(38C)

(北総支部・副支部長)

早辺(高杉) 利子(38E)

(京葉支部・編集、広報担当)

司会 今回は「安藤会長 VS 千工会三人娘」ということで、座談会を企画しました。日頃、同窓会の地域支部で活躍されている千葉工業OGに集合していただき、同窓会の会長と話し合ってもらい、今までになかった切り口で千葉工業を語っていただきたいと思います。

安藤 なんて、このメンバーが集まっているのだろうか、と心配していました。片寄った出席者が集まったのではなくて、地域支部で活躍している女性が集合したわけですね。できるだけ優しくお願いします。

OG(女子卒業生)で、連携を・・・

早辺 京葉支部が出来たときに最初の総会はオートレース場の貴賓室でやったんですよね。最初の頃とは役員も替わってきて、小林さんの年代(34年卒)の人たちが、京葉支部の重要なメンバーになっていますね。

安藤 同窓会の会長の出身地に地域支部がないというので、みんなに責められていたんだ

けど、京葉支部が出来てうまく活動しているので、同窓会長として助かっています。

早辺 38年卒の年代も、定年を迎えて余裕が出てきて、今まで出てこなかった人たちが参加するようになってきました。今まで連絡も取れなくて名簿に住所や電話番号のない行方不明だった人たちが「同窓会やらないか」と気にしているんです。

小林 私たちの化学科も、同窓会をやって次は2年後という話だったので、毎年やらないと、あと、何回出来るかわからないなんて話しになって、毎年やろうということになりました。

早辺 同窓会の女性会員は何人いるのでしょうかね、事務局で把握しているのかしら。

小林 学校に聞いてくださった方がいるのですが、全体で400名くらいだそうです。津田沼の卒業生が33名くらい(?)で、生実になってから、情報技術など学びやすい科目が増えて、女子生徒も増えているようです。

早辺 それで、支部の活動に参加しているのは、何人いるのでしょうか。

小林 京葉支部が4人ですよ。

古川 北総支部は、今は1人です。

司会 南総支部が1人だけ、若い人ですが、残念ながら結婚したばかりで支部の行事には、参加したことはないようです。他の地域支部には、支部の女子会員はいないと思います。





早辺 そうすると、今のところ支部活動に積極的に参加している女性の同窓生は、この3人だけと、いうことになりませぬ。これを機会に同窓生の女子がどうしているのか知りたいです。

次は、各地域支部の女子の集まりを企画して下さい。集まることが無理ならば、会報の誌上に参加して貰うことは出来ると思いますよ。

安藤 ぜひ、そうして下さい。できるだけ多くのOGにも参加して欲しいし、女子の卒業生にアンケートをしてみたり、会報に原稿を載せるようにして下さい。

古川 女子の同窓生が400人もいるわけですが、活動に参加する気持ちがあったとしても、子育てとか家族の健康問題とかあって、なかなかむずかしいですね。

小林 私は京葉支部ができたときから入会しているんですけど、最初はあまり参加しなかったんですが、幹事になってから、ここ、2、3年になって活動に参加しています。男性の中にまぎって参加することは、そんなに苦にならないですね。ずっと、最初から一人だったので、かえって、女性の中だと疲れてしまう感じです。

早辺 千葉工業の女性は、個性的で、普通はみんなで食事に入ったりすると、何となく同じものをオーダーするんですけど、同窓会で6人が集まったら、みんなが違うものを頼むようなところがあります。

古川 それにしても、自分から参加する人は少ないので、誰か知り合いが誘ってくれと、参加しやすいですね。私の場合は藤崎みどり(39C)さんに、誘われて入ったんです。

小林 工業へ入るくらいの女性ですから、同窓会に参加するのは平気ですよ。

早辺 いま、千葉工業に在学している女生徒の人達は、どういう子なのか、知りたいですね。

それから、千葉工業の同窓生同士で結婚している人が多いと思うけど、どうでしょうか。

小林 「なんで、工業の卒業生と結婚しなかったのか」と、聞かれたことがありました。

「千葉工業の先輩や同期生と結婚されたんでは、俺にだって権利があったと思うもの、よかった千葉工と関係ない人と結婚してくれて」と、言われておもしろかったです。

早辺 男子の中の少ない女子だったんですけど、女とか男とか関係なかったですよ。この間、京葉支部の集まりの会場になっている玉川旅館の若女将と話す機会があったんですけど、最初は不思議だったんですけど「男の人がいっぱいいる中に、一人か二人の女性が入っているのは、なぜだろうか。だけど、すごく良い関係だな、集まっている人たちの感じがいいし、うらやましい」と、言っていました。

小林 同窓会の会合などに参加するために、男の人が車で迎えに来てくれるんですが、マンションに住んでいるので、ご近所に愛に思われてはいけないので説明しているんです。

「実は、工業高校の卒業で、男の学校だったものですから、いれかわりで、違う男の人が迎えに来てくれるんです」って、そうしたら「まあ、いいわね」と納得してくれています。

古川 卒業して3年目で社内結婚したんですが、クラスの中でも早かったですね。すぐ子供が生まれたので、同窓会どころではなかったですね。



私が同窓会に参加したのは、ここ15年くらいですが、ここへきて母が体調を悪くして、大変なんです。女性が同窓会活動に参加出来るのは、どうしても限られてしまいますね。

安藤 どうしても、女性に負荷がかかってしまいますから。男としては、そうならないように努力しなくてはだめですね。

古川 母親を病院に連れて行ったりするので、

最近は、目の回るような忙しきなんです。

安藤 本当に目が回ったら大変だけどね。

早辺 私は今、体調が悪くて「肩のが切れている」と、診断されてしまったのです。普通は腱が切れると「ブチッ」と音がして、すごく痛いんですけど、私はいつ肩の腱が切れたのか気がつかなくて、朝起きたら、右手がすごく痛くて全然あがらない状態でした。

安藤 僕と同じかなあ、酔っぱらって肩を痛めたんですけど。

早辺 会長は、酔っぱらって打ったんでしょうけど、私の場合は、腱が切れて筋肉がかわりに働いていたんですって、その筋肉が疲れてしまって、痛みが出てきたみたいなんです。だから、これから肩の筋肉をきたえるリハビリを続ける必要があるそうです。

安藤 皆さん、健康だけは気をつけてくださいよ。僕もガンのPET検査をする予定です。友達はガン保険を薦めるけど、かかってからでは遅いので、予防すれば早期治療で治せるんだから、少しくらい高くても検査をしなくて、だめですよ。

早辺 1年に1回の定期検査をすること、せめて1年でできれば半年ごとがいいですね。

ガンというのは、自覚症状があるはずですよ。

気をつけていれば、絶対に何時もと違うところがあるはずですから、注意して下さい。

古川 自覚症状の無いのは「皮膚ガン」だけで、あとは、異常があれば、わかるはずですよ。

津田沼の思い出

古川 私は電気科にいきたかったんですけど、母が千葉工業に行って聞いたら、電柱登りがあるからだめだと言われたんです。

早辺 私は電気科です。同じ学年なのに、私は駄目だとは言われませんでした。おかしいですね。高校出たら就職するつもりだったので、同じ中学のクラスは違ったけど、大堀(小関)圭子(38E)さんと一緒に中学の進路指導の先生と相談して決めたんです。

小林 私は、前に女子が入学したことがない

というので、学校に聴きに行ったんです。「けいよう・第5号」にも紹介したのですが、

「女子でも入学できますか?」「うーん公立高校ですから合格すればお断りは出来ません。但し女子の施設は何もありません。それでも良かったら」といった具合でした。

化学科だったんですけど、就職してから化学薬品のアレルギーがあって、病気になってしまいました。本当は化学科は、だめだったみたいです。でも、私にとって、高校の3年間はものすごく光り輝いていた時代でした。

古川 当時は、女子の制服が決まっていなくて、何でもよかったんですね。

小林 中学3年の時に急に背が伸びて、セーラー服を新調したので、それを着ていました。

早辺 原則的には千葉二高と同じ、ということ、実際はバラバラでした。

司会 学校の状態はどうでしたか。

小林 校舎がまだ完成してなくて、兵舎のあとを改造した状態でした。お昼になって、手を洗って帰ってくると他の生徒はもう食べ終わって、遊んでいてほこりがすごくて、お弁当が食べられない状態でした。



早辺 隣のクラスとの境がベニヤ板みたいで、音がよく聞こえる教室だったですね。

小林 よく保健室に、いたんですが、女子がめずらしいといって、男子生徒が集まってきたので、にぎわっていました。保健の佐々木先生は、運動部の生徒から「ヨウチンばあさん」と呼ばれていました。怪我をすると、ヨウチンをつけてくれるものですから。体操の時には、保健室の奥で着替えました。

早辺 私たちの時に、ようやく女子の更衣室とトイレが出来たんです。

古川 化学科の一番奥から、そのトイレに行くまでに休み時間が終わってしまったくらいに不便でした。

早辺 剣道部の面と小手、柔道部の稽古着の

女性用が出来ました。それまでは、臭くてつけられなかったです。

小林 柔道は相手がいなかったの、受け身だけで、あとは護身術を教えて貰いました。創立 20 周年の時は、校門のところから津田沼駅までプラスバンドが行進したんですけど、伊藤米子(35C)さんと一緒に先頭で宣伝の横断幕を持ちました。恥ずかしかったですね。古川 津田沼校舎の建物の一部が、生実に移転したあとも残っていましたね。

早辺 二階建ての図書室や教員室のあった建物で屋根が特徴があったので、「まだ、ある」と新京成の電車の窓から見ていました。

おめでとう、母校創立 70 周年

司会 母校の創立 70 周年ということで、70 周年記念事業実行委員会が出来ました。内容は 23 ページで紹介してありますが、11 月 25 日(土)の記念式典の日程だけが決まり、その他はこれから検討を重ねていくことになっています。

安藤 最初のうちは、校長先生の説明では学校の記録をまとめた記念誌を作成して、県下に配りたいということだったんですが、「CD-R」の形でまとめて、入力も生徒がするようにして、必要なものだけ、校内でプリントアウトするようにしたいとのアイデアが出てきました。50 周年の時には、りっぱな「五十年」という記録誌を作り、寄付集めに頑張ったんですが、今回の場合は、式典・祝賀会についても費用を抑えるようなアイデアを出して貰っています。出来るだけ、在校生の役に立つようなもの、環境整備をしてあじさい公園みたいなものを作るというアイデアがあります。同窓会のボランティア委員会の力も借りますが、生徒の協力も求めたいと思います。

小林 最近は荒れている学校もあるようですが、母校はどうなんでしょうか。

安藤 毎年、卒業式に出ているんです。20 年以上同窓会長として、参列していますが、たった 1 度だけですが、7~8 人の卒業生が騒い

だことがありました。私は式辞の中で、その場でたしなめたことがありましたが、それ以外にはなかったですから、千葉工業はまだ良い方だと思いますよ。勉強だけ出来るのではなく、花を見て美しいと思うような、俳句や絵画を楽しむような情操教育をしっかりさせたいですね。

早辺 同窓生がそう思っても、中にいる生徒と先生がどう受け取ってくれるか心配ですね。

安藤 ボランティア委員会で、夏の暑い中を校庭の草刈りをやったわけですけど、生徒達が 60 代 70 代の先輩達を見て「スゲー！」と言っていたというのです。それだけでも教育効果があると思いますね。

小林 その先に踏み込んで、生徒達に君たちもやろうよ、とやらなくてはいけないですね。

安藤 それはそうですけど、出来ることをやるが必要で、同窓会として活動したことが、何らかの形で良い方向へ結びついていくと思いますよ。

古川 先生方が忙しくて、協力が得られなかったとしても、そうした先輩達の気持ちは生徒達にも伝わるはずですよ。

小林 先生方は本当に忙しいですよ。

安藤 いろんな先生がいますけど、協力する姿勢はありますよ。自分たちの出た学校ですから、良くなって欲しいものです。学校というものは、先生だけでなりたっているものでもないし、生徒だけで出来るものではないわけです。我々同窓会の役割も必要になってくるはずですよ。記念事業は、ぜひ環境整備も一つですが、後輩達に役立つ事業にしていきたいです。いろんなアイデアの中から、なんらかの形にしていこうと思います。

司会 本日はありがとうございました。

早辺 いつも、安藤会長とお会いしていますけど、こんなにお話したことがなかったですね。今日はありがとうございました。



千葉工業この一年

山岳部 関東登山大会出場

平成17年11月11日～13日、奥多摩山系(鷹ノ巣山)において開催された「第49回関東高等学校登山大会」に、母校山岳部(3年生1人・2年生3人)が出場した。県総合体育大会の上位入賞校が出場できるもので、関東各県の代表校が集まり交流登山をし、登山のすばらしさを満喫した。(山岳部顧問 増淵 守)



関東大会に出場した山岳部生徒

教室棟大規模改修工事

平成17年7月から11月にかけて、母校教室棟の耐震補強・トイレの改修工事が行われた。教室棟の外壁にコンクリート耐力壁と鉄骨ブレスを設置し、震度7の地震にも校舎が耐えられるようになった。また、2階には身障者用トイレも新設された。



耐震補強工事で1・2階の廊下にてきた壁

溶接部門で「知事賞」受賞

平成17年11月22日、母校を会場に千葉県高等学校工業教育研究会主催「第22回総合技術コンクール」が開催された。工業科で学ぶ生徒の技術向上を目的とし、11校から192人の生徒が集まり、10部門で技術を競った。溶接部門で電子機械科3年吉澤忠男君が1位で「知事賞」を受賞した。(電子機械科 佐直政司)

定時制生徒も溶接部門で「優秀賞」

同様に溶接部門で、定時制機械科3年 荻野忠明君が「優秀賞」を受賞。(定時制 機械科)



体育館で行なわれた開会式と優秀賞の賞状

定時制の課程 資格取得状況

今年度、定時制で学ぶ生徒が次の資格を取得した。他の生徒より早く登校し学科に実技に励んだ成果のようだ。危険物取扱者乙種4類 機械科4年 磯貝守・電気科1年 大藪和樹。CAD利用技術者試験2級 機械科4年 谷中大介。第2種電気工事士試験 電気科2年 麻生秀昭・鶴野桂多・片岡正志・高橋匡徳。第1種電気工事士試験(筆記) 電気科2年 片岡正志。(定時制電気科 竹内由一)

企業61社に母校生徒が就業体験

平成17年9月13日～平成18年1月18日にかけて、県内企業61社で母校2年生136名が就業体験(インターンシップ)をした。就業体験から、自分が働きたい企業の仕事を詳しく知ることができる。就職・進学希望にかかわらず希望者全員が体験できた。(工業化学科 伊豆丸千鶴雄)

大野清伍先生(28E)創立記念講演

平成17年5月6日、母校体育館において「創立69年記念講演会」が行われ、28年電気科卒業で、現在東京電機大学講師の大野清伍先生を講師に迎え、「一流のエンジニアを目指して」という題で講演をしていただいた。(電子機械科 長嶋孝雄)



体育館で講演する大野清伍先生

中学校教員が母校電気科で初任者研修

平成17年11月5日、母校電気科実習室を会場に「千葉市中学校教員初任者研修会」が行われた。千葉市教育委員会の依頼によるもので、電気科職員が講師になり、「マイクロコンピュータを使ったタイマーの製作」を体験。電子工作をとおして、工業高校の理解と中学生への工業高校紹介に役立ててもらえるよう工夫して実施した。(電気科 島貫 輝)



タイマーを製作する中学校教員

中学生395名が母校で体験入学

平成17年10月1日、県内121の中学校から、中学生395名が母校で「体験入学」をした。工業高校の学習内容を知るために行なうもので、高校への進路決定に役立つような内容で実施した。(工業化学科 伊豆丸千鶴雄)

夏休み中学生ロボット教室

平成17年8月24日～26日、母校情報技術科実習室を会場に、「つくば科学万博記念財団ロボット学習普及活動団体」と「情報技術科」の合同主催による「夏休み中学生ロボット教室」が実施された。講師は、情報技術科の生徒と職員。中学生に「ものづくりの体験」をとおして、作る楽しさ・完成の達成感などを得てもらった。(情報技術科 相澤秀光)



参加した中学生と講師の母校生徒たち

平成17年度進路状況

就職(116人:求人691社 847人) 東京電力株式会社、東レ株式会社、出光興産株式会社、電気化学工業株式会社、東電工業株式会社、キヤノン株式会社、JFE鋼管株式会社、株式会社USEN、富士石油株式会社、東日本旅客鉄道株式会社、東海旅客鉄道株式会社、小田急電鉄株式会社、東京地下鉄株式会社、日産自動車株式会社、日野自動車株式会社、日清製粉株式会社、日本板硝子株式会社、丸善石油化学株式会社、コスモ石油化学株式会社、他。

進学(97人) 大学(44名) 千葉大学、芝浦工業大学、日本大学、千葉工業大学、東京電機大学、神奈川工科大学、淑徳大学、他。短期大学(8名) 日本大学短期大学、千葉職業能力開発短期大学校、他。専門学校(45名) ニホン オートモービルカレッジ、中日本航空専門学校、船橋情報ビジネス専門学校、日本電子専門学校、千葉調理専門学校、他。1月17日現在(進路指導部 大木正臣)

古希記念クラス会・28電3Bだよりの発刊 金子 健(28E)

私達、昭和28年卒電気科B組のクラス会の歴史をみると、ほぼ10年ごとに開催しています。この間、昭和61年の早川先生の句が印象に残っています。

- ・ ゆく春や かつて教えし 集いかな
- ・ 去りゆきし 教え子偲び 胸痛む

第7回目の古希記念クラス会は、風薫る平成16年5月上総君津「ウエルサンピア」で開催された。そのときの様子を級友漆川氏の「みおつくし」(随時増刊)の記事を一部借用して紹介します。

参加者14名が房総半島中央部の「ウエルサンピア君津」に集合、卒業以来51年振りのご対面もあり賑やかに。話題は過去より現在・将来をどう張り合いをもって生き抜くかが中心。目的をもって社会的に活動している人が光っていました。

半世紀振りに会えた“片岡芳夫氏”のスピーチはブラジルでのご苦勞が想像以上に大変だった事がわかりました。片岡氏との再会に繋がるきっかけを頂いた同窓会事務局の長嶋先生には大変お世話になりました。紙上をお借りし改めて御礼申し上げます。

この51年を経過した環境はそれぞれ異なりますが学生の頃とまったく同じ、経年を感じさせず級友が一丸となりました。

担任の早川先生と級友9名が既に亡く仲間はずれは23名となり療養・介護に専念の方も多く益々健康管理が重要であると認識しました。二次会のカラオケでは、演歌あり、叙情歌ありで皆んな自慢ののどをたっぷりと聞かせてもらいました。

古希記念のクラス会は、和気あいあいの内に時が「アッ」と思う間にたちました。

翌日、久留里城、天台宗別格大本山笠森寺を見学、さらに「三途河・・・長福寿寺」という日本一長い勅命のお寺・日蓮宗薬原寺にも立ち寄り房総半島を横断してJR茂原駅

から家路につきました。

次回の「喜寿」を祝っての開催を約してから、1年を経過しました。思いは断ちがたく集まりとは別に、仲間の生き甲斐を便りとして情報交換することを狙いとして「28電3Bだよりの」第1号を発刊しました。母校の創立記念講演(大野・坂井両氏)内容や人生経験(石原・片岡・金子・斉藤・松野・漆川の各氏)談などが紹介されました。次の集まり、そして「28電3Bだよりの」次号が楽しみです。



クラス会の還暦、我々は喜寿を迎える 松岡豊彦(20M)

卒業して60年ですから、還暦ということになります。そして我々は喜寿を迎える。

戦後60年を経過しました。私達は昭和19年の夏休みに学徒動員令が下り級友と共に木更津の海軍航空廠に入職しました。各工場に何人かが組となり分散して配属されました。食料のない中、勝利を信じて日夜部品の製作に努力してきましたが残念ながら敗戦を迎えてしまいました。

私達11名は昭和20年春に卒業しましたが、他の人達は本科に編入して終戦まで頑張り、昭和21年に卒業しました。私達は本当に短い期間(1年と1学期)机を並べたに過ぎないのですが、絆は大変に太いものです。

いまだにクラス会を2年毎に開いています。平成17年5月に千葉市の「をざわ」で開催

(常用)しました。つい先年に還暦を祝ったと思ったら古稀を祝い、今回は喜寿の祝いのクラス会でした。回を追うごとに一人二人と鬼籍に入る人が増えてきています。

60年もの間、こうして続けてこられたのは幹事の国友氏(千葉工業同窓会幹事)の力添えと感謝しています。他の年度の皆様も長く続けていることとは存じますが、昭和20年の卒業生として60年(還暦)経過後もクラス会を続けていることを誇りに思っています。次回は傘寿の祝いを、皆と一緒に祝えることを楽しみにしています。



M34同窓会

土屋孝夫&宇野昭房(34M)

「やあ」「おっ」「元気かい」そんな言葉が飛び交う、ここ小湊ホテル三日月のロビー平成17年7月3日(土)であった。

千葉県で青春時代を過ごした我らであるが、小湊は初めての訪問という人もおり、日蓮上人誕生の地近くの誕生寺や鯛の浦等を見学しながら、三々五々と仲間が集まって来た。初めての宿泊同窓会参加者は26名であった。

参加者の中には一部のメール仲間、ハイキングや小旅行、仲間の絵の展覧会に行ったりして、活発な交流も行われているが、卒業後47年ぶりに会う人もいた。元気に仕事をしている人、同窓会組織で幹部として活躍の人、大抵は自由人であるが、趣味を生活の中

に取り込み、玄人はだしの人もおり、第二の人生それぞれの道を歩んでいる。風貌は変わっても、千葉工業高校で学んだ仲間達、会えばすぐ何のこだわりもなく話し合えるのがうれしい事だ。

津田沼校歌で盛り上がりを見せる。更にチャイナ節に進む。これを仕切るのもM氏だ。昔の姿を勞弊とさせる。皆んな納得。

近況報告に時間が掛かりすぎたと幹事は言う。宴会とセレモニーを全てやろうとするとハラハラしたのだろう。しかし、長くなっても良いのではなかろうか。同級生たちはどう生きてきたのか、それが聞きたかったのだ。そしてここに集まったのだ。

とにもかくにも、同窓会の充実を図るために有意義な一泊二日であった。次回は決まっていなくても、長く空けないで開催しよう、それまで「お元気で」と散会した。



郵便振替はATMを利用して…

手数料は同窓会負担となっていますので、振込金額は変更ありませんが、郵便振替の手数料が平成18年4月3日から改定され窓口取扱にすると値上がりします。取扱金額10,000円まで、窓口70円が100円になり、ATM装置だと60円で値上がりなしです。

同窓会報基金及び同窓祭参加費を振込んでいただく時には、窓口ではなくて出来るだけATM装置を利用して下さい。

詳しくは、郵便局の窓口におたずね下さい。

元気な高齢者のクラス会

中山正巳(18E)

五月晴れの5月21日、千葉市内の波奈本店で過去最低の6名が参加し、クラス会を開催した。

この1年間で亡くなった級友3名の冥福を祈り黙祷後、議題に入った。先ず岡村の三回忌墓参については全員が賛成、細目は幹事一任、次いでクラス会の継続について意見を求めたら、継続の意向が強くその方向で幹事が検討することになった。

昼食を兼ねたクラス会なので全員が良く飲み、食べた。話題は、大木が最近入所した老人施設の現状説明から始まり、各人が抱えている健康状態や教育問題、最近の世相など次から次へと話がはずみ、昔話や人生談義に花が咲き、予定時間を2時間も超過し、一日楽しく有意義に過ごして次回を約して散会した。

卒業以来60年を過ぎ、来年は傘寿という高齢になったが、皆明るく、年齢を感じさせない元気さに、この分なら当分クラス会は御安泰かなと強く感じた次第である。



岡村光三先生を囲んで 3035 柔友会

渡辺武雄(30M)

事の起こりは、飲み会で度々、昔話に岡村先生の話や柔道からボクシング部に転向し有名になった今は亡き高橋 修(31C)君の話などが出て、柔道部のOBで知人友人を誘って、飲むことになったことです。第1回が平成15年7月で、その後、34年組35年組と合流して現在は会員数38名と増加中です。

会は年1回、津田沼駅前の居酒屋で、近況報告、昔話、健康談議その他、それぞれの好きな仲間同志勝手にやっております。飲み会が終了すると、打ち揃ってヨーカ堂前の公園にある母校の記念碑の前で校歌を声高らかに斉唱し解散となる。別れ難い大部分の人はカラオケ屋で飲み直す。これがいつものパターンである。合宿の面倒を見てくれたという理由で紅一点の小林迪子(34C)さんが誰かに口説かれて会員になり幹事をやっている事と、前回まで幹事だった酒井清(34C)君が急逝し一同悲しみの追悼を行った事を付記せねばならない。最後に、先生の教訓を二つ
①己を強くしたければ稽古相手を強くしろ！
②後輩に兄のように慕われ、先輩に弟のように可愛がられる男になれ！

幹事:飯島貞行(32M)、小林迪子(34C)、根本千園(34C)



約300人が参加した「同窓祭」



同窓祭で募金
千葉工業同窓会(安藤信吉会長)は五日、地域の福祉のために役立ててほしいと現金四万六千四百八十八円を千葉日報福祉事業団に寄託した。

同会は三日、県立千葉工業高校で「第二十回同窓祭」を開催。その際、会場に募金箱を設置し善意の浄財を募った。

同窓祭で募金

千葉日報福祉事業団へ寄付

千葉日報
(平成17年4月6日)
より

囲碁同好会だより

高橋健一(29C)

同好会は、発足以来順調に回数を重ねております。当初は段位制で固定した手合割で対局していましたが、現在は点数制に変更し、回数を重ねる毎に適切な手合割に近づいているようです。毎回 15~16 名の出席者で和気藹々碁を楽しんでいます。

今年は新たな試みとして、母校囲碁部との手合せ会が実現しました。これは青木前校長より母校に囲碁部があり、高校選手権などにも出場しているとの話があり、是非交流会をやりたいということになり、安藤会長はじめ同窓会本部の全面的バックアップのもと、学校側とも連携して実現したものです。

夏休みの入ってまもなくの 8 月 2 日、囲碁例会の会場である西千葉囲碁センターで、第一回目の交流会が実施されました。当日 O B 側は安藤会長以下 16 名、学校側は内田囲碁部顧問以下 15 名が出席、1 回目なので 1 人 3 手ずつの連碁で開幕しました。

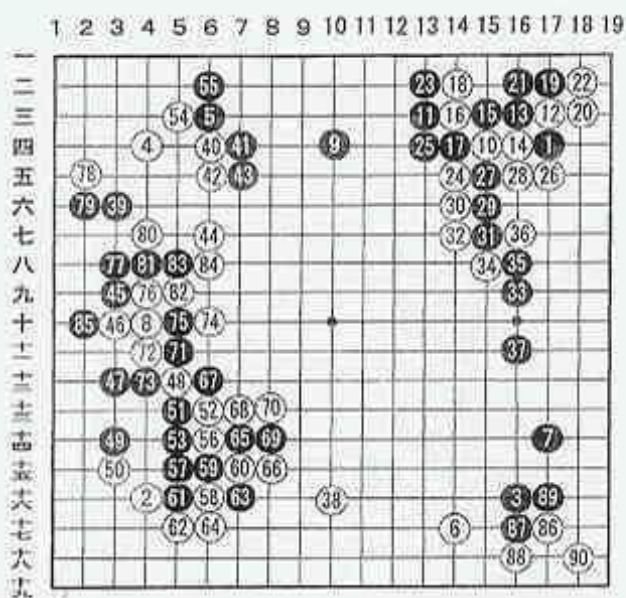
学校側(先番)は 1 番手内田顧問、O B 側は安藤会長で対局開始、碁は双方疑問手多く名局とは言えないが、内容的には大変面白いものでした。O B 側は全員有段者なのに、学校側は有段者が内田顧問と青木主将の 2 名のみで他は級位者でしたが大健闘、碁は 90 手で打掛けにしました。その後、昼食をはさんで自由対局で時間の許すかぎり碁を楽しんで散

会となりました。これをきっかけに毎年開催したいと考えております。

同好会の月例会は、1 月、4 月、7 月、10 月の第 2 火曜日、年 4 回開催していますが、7 月の例会を 8 月に変更し、学校側との例会にする予定です。碁に興味ある方是非おこしください。また、学校の部活は、毎週の月・水・金の午後 3 時半頃から行っています。O B の方で時間のとれる方、是非指導のために訪問してください。

90 手で打掛けとした連碁の棋譜です。

「黒 85 手目が好手、黒持ち直す」と、見ましたが、いかがでしょうか。



「フィジョワ」を知っていますか

平野澄夫 32C



フィジョワの実(手前) できなかつたので、

取材することになりました。初霜が降りた11月中旬に、筑波おろしが利根川を渡ってくる小見川の台地に、平野さんを訪ねました。

千葉工業OBにして、若い頃より盆栽に取り組み、柿、葡萄、ブルーベリー、キウイなどの「なりもの」を趣味として有機栽培で育成しているのです。ご自宅の庭は、大きな温室があって、広い畑のようでした。そこにいるいろいろな木が植えられているのです。庭の他にも畑があって、サツマイモと落花生を栽培しているとのこと。庭のあちこちに、みかんのような木に「フィジョワ」の実がなっていました。となりにはキウイ・フルーツ(ゴールデンキング)の棚があって、大きな実がたわわにぶらさがっていました。

「フィジョワ」は、6月に白と赤のきれいな花が咲き、8月頃に実をつけて、秋も深くなって朝方の温度が下がった時に完熟して落下するのです。落下した実を傷つけないようにネットを張ったり、初設をひいて保護します。他の果物のように木になっているのをもぎ取るのではなく、大きくなって緑色にほんの少し黄色をおびて、細い茎から離れて落ちたものを収穫するわけです。キウイ・フルーツよりも育て方はむずかしく、品種がクリッチ、マンモス、マリアン、プリティグリーンと、いろいろあり、梅雨時の受粉で雨に当てないように、夏の水不足に注意して収穫の秋をむかえる苦勞は、大変なものです。

昭和60年頃に試食した味が忘れられず、平成7年に偶然に園芸店で見つけた受粉樹を含めた2本の苗を買い求めたのが始まりで、それ以来、失敗をかさねながら、臨機応変に対応して、美味、形状、色艶のそろった新品種を作り出すまでになりました。

「フィジョワ」をご馳走になりました。なによりも、食感は不思議なもので、かすかな香りがある、ちよつとざらざらとした舌あたりがあって、甘酸っぱくておいしいのです。他の果物とは違った独特の味がします。なにやら、健康に効果があるような気がしてきました。病気がちだったという、平野さんが元気に山歩きできるのも、「フィジョワ」をはじめとした自宅で栽培する「なりもの」のおかげのようです。九州出身の奥さんと一緒に仲良く、野菜や果物を育てジャムや果実酒も作るのですから、元気のはずです。

聞くところによれば、クラスメートには有名で、ブルーベリーやフィジョワの季節にあわせて、毎年のように家族連れで訪問する人もいるようです。平野さんは、パソコンも得意で、果樹園芸の記録をまとめ、さらに「一緒に作りませんか。フィジョワの花、フィジョワの実」と題したパンフレットを作成して、仲間を求めています。興味を持たれた方は、是非ともご連絡ください。(文責=長谷川敏一)



「フィジョワ」の実を手を、平野澄夫さんご夫妻

紙くず集めて60年

澤川定夫 28E

戦後間もない新制中学1年の時から、高校を卒業するまでの6年間、学費の足しに新聞配達のアパートをした。これがきっかけで、続出した全国の新聞を集めるようになり、昂じて千葉県内はもとより世界にまで手を広げ、幕末から現在に至る約3万点の新聞を集めた。今、これを時系列的に18,000点まで整理が終わり、余命を考えながら、毎日内容を精査しパソコンのキーを叩いている。

昨年、千葉県郷土史研究連絡協議会(本部・千葉市市場町の県立図書館内)川村優会長から総会の席上で「郷土史研奨励賞」をいただいた。

明治初年から昭和にかけての房総の新聞展・鉄道展・戦争展の開催や県史の編纂、県政90年展などへの資料提供等地道な活動を認めていただけたものと考えている。今でも、ひよんな方から、平成8年に放映された「開運！なんでも鑑定団」(第2回紙クズマニア 日本一決定戦)で、優勝額を大多喜の渡邊包夫両伯から頂いたのを「観てましたよ」と言われ、赤面する次第。

世の中には情報が氾濫し、それらを掃き捨てる者も居れば、掻き集めて糧にしている輩も多いと聞くが、原紙を基に経緯を踏まえ、重々の考察が、真理を捉える事に繋がるように思われる。そんなことから、資料の収集と研究は、切り離せない。現役時代は、時代を問わず分野を問わず、ただがむしゃらに各種新聞、号外、かわら版、鉄道史料、郵便史料、醸造史料、戦中戦後の庶民生活史料など広範に渉り集めてきた。今はこれら珍品雅楽多を整理し、散逸することなく後世に有益なものとして遺したいと張り切っている。

工高をなんとか卒業し、先輩の引き立てを頂いて電検主任として67歳まで奉職できた。あとは生涯学習をしながら、感謝感謝で社会にご恩返しをしたいと思っている。

【編集部注】 原稿と一緒に(編集・印刷・発行)の「みおつくし(随時随刊)再刊第165号」を受領しました。宇田川健夫(27E)さんが見つけてくれた受賞を知らせる毎日新聞(平成17年6月28日)の記事には、次のように紹介されています。『澤川氏は中・高校生の6年間、毎日新聞津田沼販売所で新聞配達を続け新聞の「情報」に興味を持った。1953(昭和28)年に旧国鉄に入社と同時に「新聞史料研究会」を結成。以後、

転勤に合わせ全国の新聞を収集した。幕末から平成までの新聞資料約3万点は県史編さんにも活用されている。18年前、県内最古の「木更津新聞」(明治6年発刊)の復刻版30部を自費出版し、県内の図書館などに寄贈した。現在編集中の「澤川コレクション所蔵品総目録」は2年後に完成する予定だ。』



囲碁から生まれた・・・

千葉工チョイナ武士(節)

渡辺武雄(30M)

一昨年「ボケ防止に良からう」と、囲碁同好会に入りました。人生半ばを過ぎて始めた碁なので腕前は推して知るべし、世話人である同期の石井さん(30E)が「下手な方が、皆さんに歓迎されるよ！閉会後の安くて旨い酒を楽しみに来てよ！」と、誘ってくれました。

毎回5局ほど打ちますが、皆、酒好き！話し好き！同窓会好き！です。年も明け、同窓祭が話題になり、「閉会を待たずに多数の人たちが帰る」のを何とかならぬか？に話題が集中した。安藤会長が「最後に全員で、今流行の松健サンバで盛り上げたらどうだ」と提案された。「サンバは難しくて、出来ません」「じゃあ、誰でもすぐ歌って踊れる易しいヤツをさがしたら・・・」「そんなもの、ありませんよ！」いつものケンケンガクガクが始まった。

最後は「何時もウルサイ30年組の支部長3人で作ってくれ」の鶴の一声。酔いの冷めぬ間に原稿を作り、翌朝、千葉市東支部の嶋村(30E)、千葉市西支部の石井(30E)両氏にFAXし、手直しして貰った。

早速3月の南総支部の総会でリハーサルをお願いし、会長のお墨付きを戴き、4月の同窓祭本番に発表しました。以上が、「千葉工チョイナ武士」誕生記であります。今後とも歌い継がれ、更に各支部のチョイナ節が誕生することを祈念いたします

1. 千葉工 良いとこ 一度はおいで

ドッコイショ

サイン コサイン コリヤ花が咲くよ

チョイナチョイナ

2. 千葉 検見川 津田沼 生実

ドッコイショ

千葉工 出てみる コリヤ皆兄弟よ

チョイナチョイナ

【編集部注】一紙面の都合で、以下省略させていただきます。全ては、同窓祭、支部の総会で……

第8回本部主催「ハイキング同好会」

烏場山(花嫁街道)報告

木間英一(33C)

快晴の12月8日(木)、海浜幕張より7名、千葉NTT前より17名の計24名を乗せてバスは一路房総和田町へ向かった。

今回のアタックは、新日本百名山に登録の烏場山(花嫁・花婿街道)▲267mへ、予定時間の午前9時50分和田町町営駐車場に到着後、身支度を整えて10時に歩き始めました。水仙・菜の花の咲き始め、蘇鉄の赤い実を横目に、花嫁街道へ入り先頭に岡本、中程を豊村、最後尾を木間の33C馬鹿トリオが担当して登山開始。第1・第2展望台を経てマテバシイの林道を抜けて、12時に見晴台へ到着。南側の暖かな場所でベンチが多数、マップにはトイレの印があったが見あたらなかった。楽しい昼食タイム後に全員の写真撮影をして、今回の最高峰に向かい最高の眺望(富山、伊豆ヶ岳等)を楽しみ、花婿街道に入つて旧烏場山、金比羅から黒滝への木製の階段を下りていった。山の中で光の当たらない場所に17mの高さから落下する滝の前で、2度目の全員写真撮影をしました。山茶花が満開の「はなその広場」を経由して、13.5kmのコースを全員無事に予定の時間通りに完歩しました。帰路は途中のきみつ道の駅、市原SAにて小休止しJR千葉駅前17時45分到着にて全員解散となりました。今回、関口チーフ急病の為、同期の岡本保彦(33C)氏には大変お世話になりました事に感謝申し上げます。



同窓会幹事会の開催

5月14日(日)

同窓会会則によると、幹事は、各クラスから選出された1名の者と地域支部の会員数に応じ各地域支部から3名以上10名以内で推薦された者となります。「クラス幹事」については、前号(16号)で紹介しました。今回は「地域支部選出幹事」を紹介します。

ここに名前のある方、及び前号で紹介されたクラス幹事の皆さん、万障繰り合わせて、同窓会幹事会にご出席ください。

なお、同窓会の役員は、他に「常任幹事」として地域支部長の職にある者と正会員の内から会長の指名した者が会長の委嘱で決まっています。あわせて幹事会にご参集下さい。

日時：平成18年5月14日(日)

14:00~16:00

会場：千葉工業高等学校 大会議室
(本館2階)

地域支部選出幹事

南 総	千葉市中	外 房
根本 忠永 (31E)	古川 仁司 (25E)	住田 敏和 (31E)
小見川高雄 (33M)	泉崎謙一郎 (27M)	藤木 勲 (36E)
高石 進 (35M)	関口 昌利 (30M)	早野三千男 (36E)
佐久間 昭 (36M)	金親 兼弘 (32C)	生貫 俊明 (38C)
白井 正男 (40M)	須合 徹 (36E)	京 葉
島飼 光雄 (42M)	小林 昶 (36E)	飯島 貞行 (32M)
吉原 茂 (46C)		小林 進子 (34C)
木島 衛 (46M)	千葉市東	宇野 昭房 (34M)
江沢 栄 (50E)	大和地謙治 (26E)	若月 忠良 (37M)
塩盛 泰宏 (51M)	永井 和男 (27E)	高橋 博 (49C)
	佐川 一 (32C)	東 葛
北 総	秋葉 栄 (33E)	中村 軍治 (32M)
近藤 芳雄 (35E)	井上 誠一 (33E)	木間 英一 (33C)
黒川 武夫 (36E)	吉田 稔 (33M)	坂巻 実 (34M)
梅澤 秀男 (36M)	土屋 敦保 (34M)	石井 健治 (36M)
古川千枝子 (38C)		富田 博 (44M)
金子 衛 (38M)	千葉市西	
	宇田川健夫 (27E)	
市原市	桜井 輝重 (34E)	
清水 徳久 (29C)	湯浅 秀男 (34M)	
浅間 秀郎 (29C)	吉野 一男 (34M)	
花沢 義雄 (31E)	藤川 幸雄 (37E)	
川島 智 (36E)	小野美喜雄 (38E)	
斉藤 公彦 (37C)	小池 忠良 (38E)	

第53回関東高等学校

ラグビーフットボール大会出場

監督 教諭 秋葉朋幸(59E)



平成17年6月3日~5日、柏市 柏の葉公園総合競技場で開催された「第53回関東高等学校ラグビーフットボール大会」に出場した。

県大会では30年ぶりの決勝戦進出を果たし、準優勝で関東大会の切符を手にした。決勝戦では、強豪の流通経済大学付属柏高校と対戦。「足首にタックルに入る」を合言葉に、前半は激しいディフェンスで対抗し相手を26点に抑えたものの、後半では双方のフィットネスの差が徐々に現れてしまい優勝を逃がしてしまった。

平成16年秋から、チームの目標を「新人大大会ベスト4以上」・「関東予選決勝進出」に設定し、日々トレーニングに励んできた。練習試合も、県外のチームを中心に対戦し、チーム

の強化をした。

県内の予選でベスト8に入るチームは、必ずと言っていいほど高校入学前からラグビーの経験者がいるが、本校の場合は一人もいない。本校の部員は、高校に入学後ラグビーの基本からはじめる。練習を積み上げ、ハードな練習に耐えてきたからこそ今回の成果になったと思う。

また、保護者の方々には、合宿時の食事の世話をしていただき、練習に集中できたことなど全面的な協力もこの成果につながっている。さらに、たくさんのOBが休日返上で、毎週のようにグラウンドに集まり、タックルの練習台になってくれたことにも感謝する。

さすがに強豪揃いの関東大会は、2戦2敗に終わった。

今後の目標は、5度目の全国大会出場。今の「千葉県一強時代」にピリオドを打つため、今後も千葉工業ラグビー部はさらに挑み続ける。ご期待、応援をお願いします。

外房支部「幹事会便り」の発行 インターネットを通して

外房支部事務局長 菰田達夫(34M)

外房支部では、年9回幹事会を開催して支部活動の具体化を図っています。幹事会便りは元々議事録のつもりでパソコンに打ち込んでいたが、どうせパソコンに記録してあるのだから「幹事以外会員へも幹事会の雰囲気や情報を報せたら会員相互の親睦も増すのではないかしら」という発想で始めたわけです。05年会員名簿の更新年度だったのでインターネット利用者の調査を実施したところ30数名の方からアドレスを頂きました。06年1月現在44名の登録があり会員104名の43%へ配信可能となっています。また各種支部行事の案内をメールで配信でき通信費の節約にも多少役立っているようです。単にお付き合いで会員になっていただいている皆さんからも時々メールを頂くようになり、親睦というか仲間意識が増したかな？と思っています。同窓会とはいっても特別な目的を持った組織ではなく謂えば親睦団体これを維持永続させるには相互の意思疎通を図ることが第一です。幹事会便りをみて「じゃあ、今度の総会に行ってみるか」「忘年会へ顔を出してみるか」と思っていたければ幸いです。問題はインターネットを利用していない会員とのあいだに差が出てしまうことです。郵送するほどのものではなし・・・今後の課題です。何はともあれ始めて2年、少なくとも44名の会員へは「支部の今」が伝わるようになった。今のところは、このプラス面だけを評価しておきましょう。

原稿・情報を、お待ちしております。

多くの皆さんの声を掲載して、身近な同窓会報を目指します。ご意見・提案、情報を事務局・編集委員までお知らせ願います。

広報編集委員会

同窓祭実行委員長に

嶋村英男(30E)千葉市東支部長！

同窓祭は各地域支部の協力で運営されていますが、今回よりメインの担当として3支部づつが交代で当たることになりました。まず、トップバッターとして、千葉市3支部が担当します。打合せの結果、同窓祭実行委員長に千葉市東支部の嶋村支部長が選出されました。

4月2日(日)にむけて、準備作業が着々と進んでいますので、新企画にご期待ください。24ページの開催案内をご覧ください。今まで以上の参加をお待ちしています。

恒例「スーパー竹とんぼ教室」案内

主催 千葉竹とんぼ倶楽部
(千葉工業同窓会)

日時 平成18年4月2日(日)9時～11時

場所 県立千葉工業高校 食堂

参加費は無料です

(材料、道具は倶楽部で準備)

同窓祭の前に「スーパー竹とんぼの作り方教室」をおこないます。ご家族を含め大勢の皆様のご参加をお待ちしております。

千葉IOBを主なメンバーとする「千葉竹とんぼ倶楽部」の「創立5周年を祝う会」が行われました。(10月30日、割烹旅館「玉川」)その席では、活動目的の「伝承遊び『竹とんぼ』の製作指導および普及活動を行ない、手作りの楽しさを体験させてコミュニケーションの輪を広げ、青少年の健全育成に寄与する」が再確認され、大いに盛り上がりました。



70周年記念事業

記念式典は11月25日(土)

母校・千葉工業は創立70周年を迎えます。その準備がスタートしていますので、ご紹介いたします。

- ① 「70周年記念実行委員会」が設置されました。記念事業の円滑な運営をはかり、成果を期待していくことを確認しました。
- ② 実行委員会の会長に、安藤信吉同窓会会長を選出しました。副会長は学校長、全日制PTA会長、定時制PTA会長、定時制振興会、財団法人・千工会の代表の5名となります。理事は、同窓会から7名、PTAから7名、学校からの3名、生徒会のメンバーも含めて構成されました。
- ③ 次の記念事業を行うことを確認しました。
 - 1) 教育環境の整備
 - 2) 記念誌の発行(「おゆみ」「あかね」の発行を兼ねる)
 - 3) 記念式典及び祝賀会
 - 4) 例年の「千工祭」を記念行事に組み入れる
- ④ 母校が、大規模改修を夏休みから行なうため記念式典の日程は、平成18年11月25日(土)とすることが決定しました。その他の詳細日程は、学校行事等と調整しこれから検討していきます。
- ⑤ 予算については、主として財団法人・千工会からの協力によるものなどの概略のことが決まりました。記念誌の内容、記念講演または公演、記念施設は花壇あるいはトレーニングルームの整備など、詳細については、検討を重ねて、学校と生徒会の要望を実現していくことが確認されました。

母校のホームページアドレス
<http://www.chiba-c.ed.jp/chiba-th/>

各地域支部定期総会開催予定

支部名	地 域	
	開催月日	開催場所
南 総	君津郡市・袖ヶ浦以南	
	3月12日(日)	木更津市民会館
北 総	四街道以北・八街・印旛・香取	
	6月4日(日)	四街道市内
市原市	市原市全域	
	5月28日(日)	サンプラザ市原
千葉市中	中央区全域	
	7月2日(日)	ポートプラザちば
千葉市東	若葉区・緑区	
	6月18日(日)	新千葉平成館
千葉市西	美浜区・花見川区・稲毛区	
	4月23日(日)	ポートプラザちば
外 房	東金・茂原・山武・勝浦・長生・夷隅	
	4月9日(日)	東金・八鶴亭
京 葉	船橋・習志野・鎌ヶ谷・八千代	
	5月7日(日)	玉川旅館
東 葛	市川以北・浦安・流山	
	6月17日(土)	八幡会館

5ページの「各地域支部の代表者と連絡先」を参考にして下さい。

「個人情報の取り扱い」について

個人情報保護法が施行され、個人情報の適切な取り扱いが求められています。千葉工業同窓会でも、法の考え方にもとづいて内規を定めることになりました。事務局より提案された案を、常任幹事会で検討を重ねているところです。

今まで以上に、同窓会の個人情報の保護に努め、信頼される同窓会を目指していきます。よろしく、ご理解ご協力下さい。

第21回「同窓祭」開催のご案内

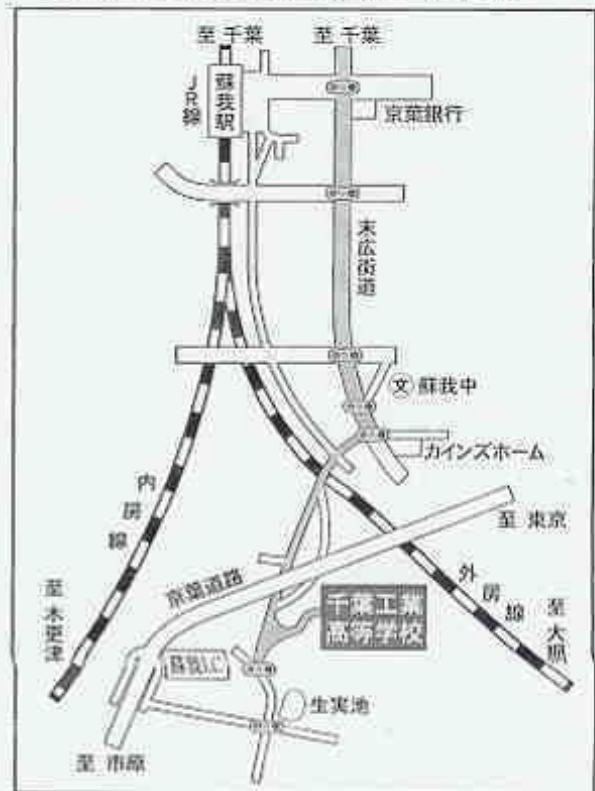
母校創立70周年の年です。まずは「同窓祭」でお祝いしましょう。記念行事を成功させるためにも、例年以上に多数の同窓生がご家族連れで参加されるよう期待します。いつものように9時から「スーパー竹とんぼ教室」も開催します。クラスメートはもとより、クラブ活動、通学を共にした仲間を誘い合って参加されますようご案内申し上げます。

懐かしい恩師の先生方も大勢お見えになります。ご出席の有無を同封のはがき(50円切手を貼って)で3月15日までに投函願います。会費および同窓会報基金の振込は、同封の振込用紙をご使用ください。また、その近くにならないと都合がつかない場合は、当日会場で受付致します。

日時 4月2日(日) 11:30~14:30
会場 千葉工業高等学校 食堂
会費 1,000円(当日会場受付にて)

- ・ 卒業5年以内の同窓生と、ご家族のうち18才未満の方は無料です。

- ・ 喜寿のお祝いを予定しています。生年月日の記入をお忘れなく願います。



編集後記

母校創立70周年を目前とした会報ですが、そのPRをするための素材が集まらず平常の紙面となりました。記事はないものの、行間に千葉県で最初の工業高校としての歴史と誇りを、見つけ出して下さい。

原稿の集まりは順調で、ページ組みに苦労するほどでした。特に「クラス会だより」は、その思いが文字数に表れていて、紙面の都合で心ならずも圧縮させていただいたものもあります。今後とも多くのクラス会を紹介したいと思っておりますので、寄稿をお願いします。

題字 安藤 信吉

千葉工業同窓会報

第17号

年に1度の会報も、号を重ねてきました。その中で「以前のように24ページに」「座談会をしてみたら」といったプレッシャーがありました。挑戦をしてみました。出来上がりが心配ですが、いかがでしょうか。

11名の広報編集委員をご紹介します。
副編集委員長：渡辺武雄(30M)、事務局長：大塚昌男(46E)、委員：関口昌利(30M)、鈴木俊雄(33E)、井上誠一(33E)、宇野昭房(34M)、大野繁樹(36M)、滝口貞一(40E)、鈴木晶蔵(42E)、橋本 勇(42E)、編集委員長：長谷川敏一(39M)

発行日 平成18年3月1日

発行者 千葉工業同窓会 会長 安藤信吉

事務局 〒260-0815

千葉市中央区今井町1478

千葉県立千葉工業高等学校

TEL 043-264-6251 FAX 043-268-5524